

各位

タツタ電線株式会社
(コード番号：5809)カーボンニュートラルに向けた取組みに関するお知らせ
(CO2フリー電力・ガス等の導入および太陽光発電設備の新設等)

タツタ電線株式会社（以下「当社」、本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：宮下博仁）は、2040年までにカーボンニュートラル達成を目標に掲げておりますが、この一環として、当社国内グループにおいて使用している電力について2022～2025年度までの4年間で段階的に再生可能エネルギー由来の電力に切り替えるとともに、都市ガスについても原則としてカーボンニュートラルLNGに切り替えることといたしました。

これらに加えCO2クレジットの活用および省エネルギー活動も組み合わせることにより、2025年度にはカーボンニュートラル（Scope1および2）を達成することを計画しております。

特に、カーボンニュートラルに対するお客様のご要請が高い「機能性フィルム事業」においては、2022年度からカーボンニュートラル（Scope1および2）を達成するとともに、エネルギー創出にも積極的に取り組むべく、国内3拠点に太陽光発電設備を新設・増設（2022～23年度稼働開始）いたします。

当社グループは、社会の持続的な発展が当社グループの持続的成長の大前提であるとの認識のもと、社会に役立つ製品・サービスを提供するとともに事業活動のあらゆる段階で環境負荷の低減を図ることによって環境・社会・経済面の企業価値向上に努めることとしており、この実現に向けて今後とも積極的に活動してまいります。

以上

・本件に関するお問い合わせ先：総務人事部（広報担当）大内 TEL 06-6721-3331

(参考1) 当社グループにおけるCO2排出量（2020年度実績）

事業所	合計（t/年）
本社・大阪工場（大阪府東大阪市）	10,577
テクニカルセンター（京都府木津川市）	1,441
京都工場（京都府福知山市）	1,839
仙台工場（宮城県黒川郡大和町）	4,341
国内関係会社	2,093
合計	20,292

(参考2) 機能性フィルム事業各工場に設置する太陽光発電設備の概要（投資総額：約3億30百万円）

	テクニカルセンター	京都工場	仙台工場
発電能力	130 kW	675 kW	537 kW
年間発電量	143 MWh	772 MWh	586 MWh

京都工場には蓄電池設備も併設

テクニカルセンターは既設太陽光発電設備（200kW）に対する増設分